

# あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第67号 2025年3月15日発行

👉 食べてはいけない?! 身近な植物 👉

種類や摂取量によっては重大な事故となる場合もあります。

①



## ① レンゲツツジ

日本のツツジの中で唯一、毒性のあるツツジが「レンゲツツジ」です。

子供が花の蜜を吸う遊びをしている場合は要注意。養蜂業者もレンゲツツジの開花期は、はちみつを採取しないそうです。

誤食部分：花蜜、葉、根

②



## ② ジャガイモ（芽、皮、未熟なもの）

定期的にニュースになるジャガイモの食中毒。芽や芽元、光を浴びて緑になった皮にはソラニンやチャコニンなどの毒素が含まれ、調理しても成分は分解されません。しっかり下処理をすること、十分に熟したものを選定することが大切です。

症状：嘔吐、下痢、腹痛、めまいなど

③



## ③ ポインセチア

白い樹液が皮膚に付着した場合、腫れやかゆみ、かぶれが発生する可能性があります。人間にとっては致命的な毒ではないようですが、犬や猫など、動物の誤食に注意が必要です。

誤食部分：葉、茎、樹液（剪定時に付着）

症状：嘔吐、皮膚の炎症など

調理過程で無害となるものや、摂取量によっては有毒となる植物があります。

・保存しておいた観葉植物のタネを誤って調理し、食中毒を発症したケースもあるようです。

調理時に触る場所に置かないなど、日ごろから保管場所に注意しましょう。

・誤食事故を防ぐために・・・

「食べられる植物の近くに、有毒植物やよく似た植物を植えない」

「食用だと確実に判断できないものは、採らない・食べない・売らない・人にあげないことを心がけましょう」

# 1. ちびっ子餅つき大会2025

齊藤徳剛会長

1月18日土曜日午前10時、前日の風の強さ寒さから一転、穏やかな日差しイベント日和の中ちびっ子餅つきが始まりました。獅子舞のお囃子が流れ出し、子供ネットワークのキッズコーナーからは喜びの音が大きく聞こえてきていました。磯辺焼きやカレー・うどん等の匂いも漂いお祭り気分も十分盛り上がってきました。お汁粉の振舞いに家族連れ的笑顔が温まっているようで嬉しくなってきました。「餅つき初めて」「重い」「楽しい」の声や写真を撮っている笑顔に来年もと思い、継続の大切さを感じた大会でした。これも沢山のスタッフ関係者の協力によるもので感謝いたします。



## ◎餅つきとその周辺

恒例の新年ちびっ子餅つき大会2025が快晴の空の下、水の館前の広場で開催されました。年々「ちびっ子餅つき大会」の人气が高まり、来場者も見込みを上回る盛況ぶりに主催者側の一人として準備に万全を期して当日を迎えているつもりですが、毎年反省点が出てきてしまいます。3回の餅つき体験を各回70人に制限したり、整理券を配布して長蛇の列を回避したつもりが、整理券には順番がついていないために、配布後すぐに餅つきの行列が生じてしまい、いかんともしがたい待ち時間を強いてしまい、大変申し訳ないと思いつつ、妙案がなかなかないのが現実です。それでも、真剣に楽しそうに餅つきに取り組む子どもたちを見ていると日本の伝統行事のひとつが思い出として心に刻まれるだろうと内心ほっとするひとときでもあります。まだまだ工夫の余地はあると思いますので、さらに協議会内で知恵を出し合い来年はより快適な餅つき体験ができるようにしたいと思います。

中村学校給食支援部長



## ◎駐車場整理編

小松総務部長

当日は気温零下の寒い朝ではあったものの、快晴に恵まれたイベントにとっては良い天気でありました。水の館駐車場には、午前9:30頃から駐車車両が入り始め、イベント開始の10時ころには、所定の駐車場200台収容可が約70%程度の駐車状況となり始めました。プロの整理員3名の方々と農政課の皆さん、ボランティアの皆さんと共に事故の無いよう、気をつけながら整理していきました。農政課の整理計画で、場内を左回りの一方通行として誘導する方針を貫いて整理しました。しかしながら、中には指示に従わない車両もいたため、多少の愚痴をこぼしながら誘導整理に当たりました。10時20分~11時50分の間が駐車場のピークとなり、農政課にて事前に許可を得ていた芝生駐車場にも車両を誘導する事態となりました。12時を過ぎるころになると、一時的に駐車場内での待機を余儀なくする事態も発生しましたが、お昼時間を経過するころには、入場する車両と出庫する車両のバランスがとれ待機する車両もなくなり始めました。ともあれ、場内での事故がないことが最大の成果であったと思います。

例年通り全体のテントの設置が終了してから、モチ焼きの準備が始まります。まずは竈を設け炭に火を点け熾火を作り、網が焼けてくるといよいよモチ焼きに入れます。今年も餅は中野農園に頼み調達しました、餅は一枚一枚が切れているので扱いやすかったです。餅を焼き始めると早くも人が並び始め、最後まで列はほとんど途切れることはありませんでした。1枚100円の460枚の磯辺焼きはほぼお昼過ぎには売り切れになりました。またお汁粉は700杯が皆さんに行き渡りました。今年は実行委員以外のボランティア参加者の方が多いましたので各部署ともスムーズに進んだようです。



## 2. 援農ボランティア養成講座に参加して

養成講座第21期生 佐藤 信吾

援農ボランティア活動に参加した目的ですが、退職後の運動不足の解消と地域社会にほんの少しでも貢献できればと始めたのが経緯です。家庭菜園を無農薬、無肥料で意気込んで行うも撃沈。言わすもがなの結果でした。その時に、広報あびこの「援農ボランティア養成講座」を知って、申し込み、今にいたります。そして今の状況ですが、週に2~3回参加させてもらい二ヶ月程の経験です。

何もわからない状態、役に立てるのか不安だらけの中で毎回違う作業で四苦八苦、ただただベテラン援農ボランティアの先輩の要領を得た作業を見ながら、教わりながらの奮闘中です。今は猫の手から少しでも早く貢献できるようがんばっています。

これまでに感じたことですが、プロの農家さんはすごい。ほんとうにすごい。農作物を育てて出荷するまでの仕事量の多さにびっくり。種から土作り、植え付け、育て収穫、販売、片付けと次の新たな準備。その一連の中での管理作業がとてつもなく多い。収穫後の処理も思ったほど多いし大変な作業（これは少し経験有り）を知りました。

野菜だけでも何種類もあり、季節ごとにも違う作物、しかも並行して管理していくという、一人当りの作業量。この多種多様な工程管理どうやっているのか？不思議です。私には、できそうにありません。特に最近では、温度の異常、天候の変化、雨の多い少ない、害虫の多発、毎年違う環境、国の政策、農家さんの仕事を心から尊敬いたします。今は、あびこんやスーパーで野菜を見るたびに品物のひとつひとつを見るようになりました。各農家さんの思いがあり苦労があるので、今は食べられることに感謝しています。

最後に、特に感じたこと。ボランティアの人たちや農家さんを見て、健康さと元気さを感じています。寿命はそれぞれですが、健康寿命（精神的、肉体的に問題なく行動できる）が一般平均と比較して十年は長いように感じます。私もへこへこしてはられない。土いじり（菌）やお日様のおかげかな、こんな思いです。前期高齢者の私としても、できる範囲でもっともっと頑張りたいこの頃です。



### 3. 養成講座閉校式・原田さんの話

中峠 原田 賢宗

第21期援農ボランティア養成講座閉校式で、市内中峠地区でトマトを栽培している、原田賢宗氏に講演していただきました。

ご講演は就農までの、土地・設備の入手経緯、作物の選定に始まり、栽培管理の作業内容や病害虫対策、現時点での課題・問題点、援農ボランティアへの依頼作業内容など多岐にわたるもので、受講者からの質問も多く大変興味深い内容でした。原田氏は福島農家出身で、農業に興味を持っていたことから、2012年9月に金融機関を退職、就農活動を開始して2014年3月から農家としての第一歩を踏み出しました。

1回の植え付けで収穫期間が12月～翌年6月と長いトマトを作物として選定、トマト栽培が可能な屋根型ハウス付きの農地を我孫子市中峠に購入することができました。

購入したハウス設備は、骨格部分を除き、その他の鉄材・被覆フィルム・保温カーテン・暖房設備等の交換が必要でした。さらに、この農地は地下水位が高く、過湿を嫌うトマト栽培に不向きなことから、ハウス内にシートを敷き詰め、袋培地による土壌隔離栽培を採用することにしました。自動の灌水・給液設備等の投資も必要でしたが、トラクター等の高価な農機具が不要というメリットもありました。適切な栽培管理を実施することで、20数段にわたりトマトの収穫が可能です。



養成講座研修（水の館）

その後増設したパイプハウス3棟では、4月定植の通常の夏トマトを栽培しています。こちらは土壌隔離栽培ではないので、連作障害を避けるために割高な接ぎ木苗を採用せざるを得ず又堆肥を活用して化学肥料の使用を抑えています。さらに畝づくり、草取りが欠かせない作業になっています。

現時点での課題・問題点としては、人手力不足と気候変動等による収穫量、収入の不安定となり易いことです。収穫量、収入の不安定を解消するには、経営者として経験を積み重ね、対処するしかありません。

人手不足を補う援農ボランティアの方々への依頼作業内容は、屋根型ハウスでは苗の定植、脇芽取り、摘葉、下葉切り、摘果、摘花、トーン噴霧、片付け作業です。

パイプハウスでは、屋根型ハウスでの作業に加え、土づくり、畝づくり、草取りの作業も必要と成ります。引き続き多くの援農ボランティアの方々の協力をお願いします。

# 4. 第49回我孫子市消費生活展

若王子広報部長

49回続く消費生活展は今年も2月に第一土曜日・第一日曜日の令和7年2月1日(土)2日(日)にあびこ市民プラザ(あびこショッピングプラザ内3階)で我孫子市消費生活展実行委員会・我孫子市の主催で開催されました。天候は1日(土)が曇り空、2日(日)は雨交じりの曇り空でした、入場者数は1日(土)329人・2日(日)262人計591人でした。

今年の全体テーマは持続可能な社会を目指して～もっともっと進めようSDGs～また「あびこ型「地産地消」推進協議会」のテーマを農・野菜と作成したパネルを展示しました。

あびこ型「地産地消」推進協議会ではSDGsの17のテーマの内関連番号として「2: 飢餓をゼロに」「15: 陸の豊かさを守ろう」を選定、さらに個別テーマとして「農・野菜」を取り上げました、4枚のパネルの個別の題材としては、

- 1枚目: 日本に自生していた野菜と新しく入ってきた野菜
  - ・日本古来の野菜: 今では山菜と呼ばれる品種がほとんどです。在来の野菜は20種と言われてます。
  - ・外来種: 縄文時代の昔から明治維新頃までに、現在使われている多くの野菜が日本に到来しました。
- 2枚目: 千葉県内で栽培されている野菜の種類と産地の分布
  - ・千葉県で栽培されている主な23種の野菜を地域別に地図に表示しました、そのほとんどが外来種でした。
- 3枚目: 我が国の農業における野菜の位置づけ
  - ・野菜の産出額は日本の農業総産出額の25%を占めています。
  - ・野菜産出額で品目別には、トマト、イチゴ等の10品目で野菜産出額の約60%を占めています。
- 4枚目: 我が国における野菜の国内供給と野菜の輸入量の現状
  - ・国内供給状況は国内生産が約80%、輸入量が約20%
  - ・野菜輸入量のうちタマネギが約40%(うち90%が中国)を占める。

以上4枚のパネルを展示したところ、日本の古来の野菜が思ったより少ないことや、日本の野菜と信じていた野菜が外来種と意外といった感想が多く、野菜の国産率が高いことに安堵した方もおられました。当日はパネルの説明を行いながら当協議会のリーフレット・会報を配布しました。会場ではスタンプラリーを行い賞品が配布されまたアンケート調査も行われました。

実行委員会では昨年の4月から今年の1月まで月に1度の打合せを重ねて「我孫子市商業観光課」と8の団体がそれぞれの個別テーマに添ったパネルを作成しました。「我孫子市消費者の会」「エコピュアあびこ」「あびこ型「地産地消」推進協議会」「あびこ女性会議」「NPO せっけんの街」「我孫子市石けん利用推進協議会」「エコライフあびこ」「自然エネルギーをすすめる我孫子の会」以上の団体が参加しました。



## 5. 年末のつどい

師走もそろそろ後半になる令和6年12月21日（土）に我孫子駅から歩いて5分のけやきプラザ9階にある「我孫子南近隣センターホール」で、恒例の年末の集いが開かれました。

参加者36名（一般会員26名、農家会員4名、法人会員1名、農政課5名）そして来賓として星野市長が参加されました。

開会の辞から始まり、齊藤会長から「今年の夏の暑さが異常ではなくこれからは毎年のことに成る」等の1年を振り返りってのお話がありました。来賓挨拶では星野市長より「我孫子市の財政に関する話し又耕作放棄地が増えており我孫子の景色として決していい風景ではない」とのお話がありました。乾杯を若王子副会長の音頭で行い、その後、歓談に入りました。

料理は法人会員でもある「みんなの広場・風」さんのデリバリー料理でクリスマスロールチキン・大根入りハンバーグなど13種類の料理を美味しくいただきました。

歓談が進んだところで令和6年度の養成講座を11月に終えて援農ボランティアを始めたばかりの21期生の皆さんの紹介があり、各々が養成講座を受け援農ボランティアを始めた動機などを話してくれました。その後は農家さん・農政課・各部の紹介がありました。

その後のゲームでは司会者とのじゃんけん大会が行われ、「白菜」争奪で白熱しました。最後は農政課長のお話して中締めを行い、参加者全員、農家さん提供のトマトを土産に解散しました。



発行：あびこ型「地産地消」推進協議会 会長 齊藤徳剛

住所：270-1146 我孫子市高野山新田193（「水の館」2F）  
（業務日 月・火・木）9：00～17：00

Tel 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771

E-mail [info@abiko-chisan.com](mailto:info@abiko-chisan.com) HP <http://abiko-chisan.com/>

（協議会ホームページではカラーでご覧いただけます）

